

より一層充実した当院の 「一般外科・消化器外科医療」

副院長（外科） 田中 伸之介

平成23年4月より新たなスタッフで診療を開始した当院外科チームも、この春で5年目を迎えることとなりました。この間、近隣の諸先生方から本当にたくさんの患者様をご紹介いただきました。お陰様で外来、入院を問わずさまざまな外科医療を提供することができ、手術数も少しずつ増えてまいりました。本紙面を借りまして改めて御礼申し上げます。誠にありがとうございます。

新年度を迎えるにあたり、当院外科の診療内容の現況と診療スタッフをご案内させていただきます。

★私たちが担当する主な疾患と病態

1. 外傷を中心とした一般外科
2. 褥瘡処置と創管理（外来・入院）
3. 消化器疾患の手術治療
 - 1) 良性疾患（胃十二指腸潰瘍、胆石症、胆嚢炎・胆管炎、虫垂炎、腸閉塞、腹膜炎、急性腹症、炎症性腸疾患、ヘルニア、痔疾患など）
 - 2) 悪性疾患（胃癌、結腸癌、直腸癌、胆嚢癌、膵臓癌、肝癌など）
4. 肝胆膵疾患（主に胆嚢炎や胆管炎）に対する内視鏡治療
 intervensional therapy（ERCP、EST、PTGBDなど）
5. 腹腔鏡手術（胆石症、胃癌、大腸癌、ヘルニアなど）
6. 乳腺疾患の手術治療（良性腫瘍、乳癌など）
7. 悪性疾患に対する癌化学療法（胃癌、大腸癌、乳癌、胆膵癌など）
8. 癌患者さんの栄養管理や緩和医療
9. その他

特に本年1月より、福岡大学消化器外科・胆膵グループから新屋智志先生（日本消化器内視鏡学会専門医）が赴任し、肝胆膵疾患（主に胆嚢炎や胆管炎）に対する *intervensional therapy* がより一層充実いたしました。また、この春より内痔核に対する硬化療法（ALTA療法：ジオン注射）も開始しております。

★外来診察日

- ・月～土の毎日（月～金は午前と午後、土は交替制で午前だけの診療）
- ・急患のご依頼は可能な限り対応させていただきます。
- ・その他、お困りの症例は田中（副院長）、兒玉（外科部長）まで直接ご連絡下さい。

★治療の実際

胃癌・大腸癌に対する腹腔鏡手術

総胆管結石や急性胆管炎に対する
内視鏡的処置・治療（ERCP、EST）



★外科スタッフが有する主な専門資格と役職

日本外科学会	専門医：4名、指導医：1名
日本消化器外科学会	専門医：2名、指導医：1名
日本消化器内視鏡学会	専門医：1名
大腸肛門病	専門医：1名
がん治療	認定医：1名
消化器がん外科治療	認定医：1名
日本胃癌学会	代議員：1名
日本臨床外科学会	評議員：1名
九州外科学会	評議員：1名 など

★外科スタッフ



新屋智志
外科医師
(H15年卒)

中川元道
外科医長
(H11年卒)

兒玉利勝
外科部長
(H7年卒)

田中伸之介
副院長
(S57年卒)

私ども常勤外科医4名と福岡大学消化器外科からの非常勤医師、ならびに前号の「直方病院レター」でご紹介しました消化器内科4名のスタッフが一致団結して消化器疾患の治療（内科的・外科的）を担当させていただきます。今後ともご指導ご鞭撻ならびに患者様のご紹介をよろしくお願い申し上げます。